

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【公表番号】特表 2006-518655 (P2006-518655A)
 【公表日】平成 18 年 8 月 17 日 (2006.8.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-032
 【出願番号】特願 2006-503841 (P2006-503841)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 19/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 19/00 5 0 2

A 6 1 B 6/03 3 2 3 R

A 6 1 B 6/03 F

A 6 1 B 5/05 3 9 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 2 月 19 日 (2007.2.19)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

イメージング・システムにより位置特定可能な撮像可能なフィデューシャル・ロケータ・ヘッドと、

位置決めシステムのロケータ計器を係合するようなサイズと形状にした、前記撮像可能なフィデューシャル・ロケータ・ヘッドと一体化されていると共にテーパのついた側壁を有する雄型または雌型レセプタクルと、

前記撮像可能なフィデューシャル・ロケータ・ヘッドから外方に延びている、少なくとも一部分を骨に対して確保させるように構成された骨ねじシャフトと、を含むフィデューシャル・マーカを備える装置。

【請求項 2】

前記レセプタクルは、前記撮像可能なフィデューシャル・ロケータ・ヘッドに対して一体的に位置特定された頂点を含む実質的に円錐形のディボットであって、前記撮像可能なフィデューシャル・ロケータの画像の中心がディボットの頂点と実質的に一致し、撮像可能なフィデューシャル・ロケータは少なくとも 2 つの異なる撮像手段で位置づけられたディボットを含んでいる請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

被検体に固着させたフィデューシャル・マーカの一部分の画像を表示するためのコンピュータ・ディスプレイと、

前記フィデューシャル・マーカの前記部分の表示画像に整列させるためのテンプレートであって、フィデューシャル・マーカの前記部分の 2 次元画像と整列させるために少なくとも 1 つの輪郭機能を含んだテンプレートと、を備えるシステム。